

石巻エリア

石巻市・東松島市・女川町



日和山から眺めた2年目の町並み（石巻市）

石巻エリアは、宮城県の東部に位置し、石巻市、東松島市、女川町の2市1町で構成されています。全国の市町村で最大の死者・行方不明者を出した石巻市をはじめ、県内の人的被害の半数以上がこの地域に集中し、全半壊の住家も約47,000棟に上りました。

平成24年度は、被災地最大規模の被災市街地復興土地地区画整理事業により新蛇田地区の造成に着手した石巻市、市内全7地区の防災集団移転促進事業に着手した東松島市、そして女川町でもまちづくり事業の着工が行われるなど、本格的な復興まちづくりへの一歩を踏み出した一年となりました。また、主要産業である水産業の復興や再生可能エネルギー導入に向けた取り組みも始まっています。

一方で、地域人口の約5分の1に当たる約38,000人が応急仮設住宅での暮らしを余儀なくされています。



ソーラーパーク建設工事の様子（東松島市）



まちづくり造成工事の様子（女川町）



地域の復興状況（石巻エリア）

石巻エリアの被害状況

	地域合計	県内合計
死者	5,224人	10,427人
行方不明者	744人	1,302人
全壊	30,787棟	85,259棟
半壊	16,928棟	152,875棟

〔平成25年2月28日現在〕

応急仮設住宅入居者数

	平成24年3月	平成25年3月
プレハブ住宅	24,328人	23,333人
民間賃貸借上住宅	22,692人	14,216人
計	47,020人	37,549人

〔平成25年3月1日現在〕



市内に積まれたがれきの山（石巻市）

2012年3月18日 日曜日

歌って踊って、心のパワーを取り戻そう！
東松島市から笑顔発信「とびだす100通りのありがとう」（東松島市）



東松島市と石巻市を中心に宮城県内の3歳～83歳までの被災者の方々が100人以上も出演するミュージカル、東日本大震災チャリティー公演「とびだす100通りのありがとう！」。日本中、そして世界中からいただいたたくさんの支援に対して「みんなでお礼を表現したい」との思いで開催しました。

実行委員長の前谷ヤイ子さん



2012年9月2日 日曜日

石巻ふれあい朝市（石巻市）



毎月第1、3週日曜日の朝6時から8時までの3時間、石巻駅前「にぎわい交流広場」で行われている朝市。震災の前から10年以上も続いているそうです。出店者の多くが被災し、販売する店舗も少なくなりましたが、「それでもやろう」と再び立ち上がり、元気に頑張っています。



2012年8月1日 水曜日

石巻最大のイベント川開き！（石巻市）

石巻で最大のイベント「石巻川開き祭り」。供養祭や流燈、小中学生のパレード、そして北上川の河口を照らす5000発の打ち上げ花火などさまざまな催しが行われました。地元の方々は言います。「去年より活気が出てきてる」「以前よりも賑わっている」去年より、以前より、と思う人々が作り上げた川開き。来年も楽しみです。



2012年11月17日 土曜日

石ノ森萬画館 Re:Open（石巻市中瀬）



「ヒーローたちと共に、子どもに笑顔を、街には元気を届け、市街地の活性化に取り組んでいきたい」。石巻市の旧北上川の河口近くにある石ノ森萬画館は、高さ5メートルを超える濁流に襲われ甚大な被害を受けましたが、萬画館のスタッフやボランティアなどによって清掃され、2012年7月から復旧工事が始まり、同年11月17日、ついに復活しました！



2012年8月18日 土曜日

笑顔の種をまく（東松島市宮戸）



日本三景・松島から東に位置する「奥松島」の宮戸島。観光復興の第一歩として、豊かな自然と景観を取り戻す植栽活動に取り組んでいるNPO法人スマイルシード。この日も全国から集った支援の人たちが、水路の整備に大粒の汗を流しました。



2013年2月25日 月曜日

多様な再生可能エネルギーで環境未来都市へ（東松島市）



景観に配慮し、植樹や緑地整備を行います。

東松島市内で今年10月の運転開始を目指し、「奥松島『絆』ソーラーパーク」の建設が始まっています。出力約2メガワット規模のメガソーラー施設で、1万4千枚の太陽光パネルによって、一般家庭600世帯の年間使用電力量に相当する約210万キロワット時を、年に発電する予定です。再生可能なエネルギーを学ぶ教育の場としても活用していくといえます。



太陽光パネル設置のための基礎工事

2013年1月20日 日曜日

再出航！！（石巻市雄勝町）



「あのまま震災がなければ、ただのんびんだらりと普通の人生で終わっていたわけさ。それが、この震災でいるんな人と出会うことができ、かえって、人間としても、男としても、大人としても成長した」そう語るのは、石巻市船越の漁師、中里孝一さん。新造船「第五孝丸」の出航は、中里さん自身にとっても再出航の日となりました。



2012年10月23日 火曜日

復興人 石巻元気復興センター代表松本俊彦さん

(石巻市)

石巻市沿岸部の水産加工品会社は津波によって事業所のほとんどが水没し、何もかもがゼロからのスタートになりました。「石巻元気復興センター」は、さまざまな問題を抱えているけれど、共に手を取り助け合い、信頼し合える「仲間」の集まり。「共に立ち上がる！」そんな思いを持ち再建を目指して活動しています。



2012年8月25日 土曜日

感謝、祈り、そして未来(復興)へ。東松島の夏祭り

(東松島市)



夏休みの終わる頃8月25日に開催された「東松島夏祭り2012」。当日はたくさんの人でにぎわい、神輿やパレードのほか、航空自衛隊も駆けつけ大盛況でした。「東松島に元気を！」と福島県川俣町から参加した山木屋太鼓の皆さんの太鼓の音も鳴り響いていました。



2012年11月19日 月曜日

被災地への恩返し

(石巻市、仙台市)



東日本大震災における建築家による復興支援ネットワーク「アーキエイド」で、地域支援のインターンとして活動している犬塚恵介さん。震災発生後に名古屋から仙台に移り住んで復興支援活動に励んでいます。「復興に携わっている人の“前に進んでいこうとする姿”には本当に勇気づけられました。その分、恩返しとして被災地でできることをしていきたいです」と語ってくれました。



2013年1月1日 火曜日

元気に働く姿を見せる。それが私の感謝の証し

(石巻市鮎川浜)

金華山への初詣客が船を待つ船着き場で、軽トラックに海産物を積んで販売していた齋藤恭子さん。常連客や支援の人たちに励まされて、ワカメ養殖の仕事と暮らしを着実に立て直しつつあります。



2013年1月7日 月曜日

女川アートギルドカンパニー

(女川町)

「アート」で地元を、女川を、石巻を盛り上げたいという思いで集まる人がいます。きぼうのかね商店街の一角を拠点に、女川のアートイベントのほか石巻も巻き込んで、共同イベントの計画も進行中です。



2013年1月17日 木曜日

18年の歳月に、同じ被災地から

(石巻市中央)



「同じ大震災を経験した者として、震災で亡くなられた方への追悼をしたいと思います」。阪神・淡路大震災から18年が経過した朝。石巻の中心市街地の一角で、「1.17 阪神・淡路大震災 石巻市民 感謝と追悼の集い」が行われました。

2012年3月18日 日曜日

女川町商店街復幸祭 - 希望の鐘を鳴らそう -

(女川町)



「1人でも多くの方に足を運んでもらい、女川の“今”を見てもらおう」そんな思いで女川町商工会が開催した「女川町商店街復幸祭」。多くのアーティストによるステージイベントや貴重な海産物の限定販売、ペガタ仙台コーチ指導によるサッカー教室など、企画は盛りだくさん。県外から大型バスも来て駐車場はどことも満車！海の幸に舌鼓を打つニコニコ顔の人たちで、会場は活気に溢れていました。



2013年1月13日 日曜日

正月と子ども

(石巻市南境)



石巻市の南境第7団地。「仮設住宅に住んでいる子どもたちに日本の文化を知ってほしい」「仮設住宅でも正月を感じられれば」そんな思いで餅つき大会が開かれ、子どもから大人まで餅つきを楽しみました。

2012年10月14日 日曜日

みんなで子ども秋まつり

(東松島市)

10月14日、東松島市コミュニティーセンター前で行われた「みんなで子ども秋まつり2012」。子どもの元気のおかげで、天候は晴れ！去年に比べ地元の方の参加が増えたそうで、「地元の協力が復興につながる」ことを実感できるイベントとなりました。



2012年6月11日 月曜日

REBIRTH プロジェクト in 石巻市北上町十三浜

(石巻市北上町)



ピザを焼く石釜

震災後間もなく石巻市北上町十三浜にボランティアが入ったセケ宿町の海藤節生さん。毎日パンやおにぎりで食事をすませているみんなに美味しい焼きたてのピザを食べさせたいと思ったそうです。多くの方々の助力をえて、2012年3月下旬に石窯が完成し、焼きたてのピザが振る舞われました！



2012年8月18日 土曜日

アメリカ(NY)から日本へ、日本(被災地)からアメリカへ、世界へ

(石巻市)

日本とアメリカをつなぐ2つの映像。1つは、東日本大震災の募金を呼びかけるためにアメリカ・ニューヨークを舞台に制作されたもの。もう一つは、石巻を舞台に世界中からの支援への感謝の気持ちを映したものの。インターネットを通じて世界中の方々が観るところとなりました。



制作者のKENJIさん

2012年8月16日 木曜日

復興人 Ishinomaki2.0 代理理事 松村豪太さん

(石巻市)

街歩きイベント「オープン石巻ツアー」。「ゆかた de 街コン」。「STAND UP WEEK」・・・面白くてすてきなことを次々と繰り上げて石巻を盛り上げているIshinomaki2.0代表の松村豪太さん。街づくりに真剣に挑んでいる方です。



2012年11月10日 土曜日

強く生きる人々の姿 - 石巻市立湊小学校避難所 -

(石巻市、仙台市)



仙台市青葉区の桜井薬局セントラルホールで上映された「石巻市立湊小学校避難所」の舞台挨拶にお伺いしました。当日は、藤川佳三監督とこの映画に出演されている村上愛子さんが登壇。避難所で必死に過ごす被災した方の本当の声と姿、悲しみの中でも人と人が支え合って生きる様子が映し出されていました。



2012年10月20日 土曜日

石ノ森萬画館再開カウントダウン

(石巻市中瀬)



着々と再開の準備を進めている「石ノ森萬画館」をバックに10月20日、音楽イベント「アニぱら音楽館 EXTREME LIVE in 石巻」が開催されました。



石巻出身の速藤正明さん

2012年6月30日 土曜日

復興の一步

(石巻市魚町)



津波の猛威のシンボルとしてさまざまなメディアで世界中に紹介されてきた「鯨大和煮タンク」が6月30日、ついに解体・撤去されました。

2013年1月1日 火曜日

震災から2度目の金華山初詣

(石巻市鮎川浜)



一昨年来、繰り返し訪れている金華山。今年も「初詣・観光ボランティア」に参加してきました。牡鹿半島と金華山では、少しずつ前進の兆しが見え始めていました。

2013年2月18日 月曜日

橋本ママが世界に飛び出した日

(石巻市、県外)



橋本ママこと橋本信子さん(右から2人目)

国内からだけでなく世界各国から石巻に来てくれた大勢のボランティアの人たちの懸命な姿に感激し、愛情と栄養のたっぷり詰まった食事を6カ月間、のべ5400人分も提供した橋本信子さん。彼女がボランティアのために作ったレシピが出版され、その発刊記念イベントが東京・池袋の「宮城ふるさとプラザ」で開催されました。



2012年10月13日 土曜日

マンガの街石巻で「009 RE:CYBORG」ワールドプレミア試写会

(石巻市)



10月13日に石巻市内で行われた石ノ森章太郎さん原作の「009 RE:CYBORG」のワールドプレミア。神山健治監督は、「石ノ森先生を育んだ街で最初に公開できることは私自身とても誇らしく、震災で被災された方に少しでも明るい気持ちになってもらいたいです」と語ってくれました。試写会に先立ち、神山監督は再開を目にした石ノ森萬画館を視察しました。



2013年2月25日 月曜日

月浜の「月光プロジェクト」

(東松島市宮戸)

奥松島にある月浜。津波の高さは8メートルにも及び、ノリ養殖は壊滅しましたが、「再びノリを生産したい」という若い漁師の声にベテラン漁師も再び立ち上がり、「月光プロジェクト」が設立されました。震災前は、個人漁をしていた人々が、震災後一致団結して再生を果たし、支援してくれるたくさんの方々へ、真心たっぷりのノリでお返しをしています。さらにノリだけでなく、月浜の観光を盛り上げようと活動中です。



代表の山内良裕さん